（別紙５）

公表

事業所における自己評価結果

事業所名　ここにあるかいふーずしゅ教室

公表日　令和7年5月29日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
関係機関や地域との連携	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	2	・全体活動、個別活動と、取り組みやすい空間づくりをしています。 ・テラスを増設して、活動スペースを増やしました。	・多機能で幅広い年齢層の児童がいるので、クールダウンできる空間も作っていきたいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	2	・パート職員、ボランティアさんなども含めて、現場職員は適切に配置しています。	・職員の体調不良等に対応できるようにしていけるようにしたいです。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	・視覚優位の児童が多いので、壁面に掲示物を貼らないようにしたりしています。幅広い年齢の児童がでいりするため、活動によってお部屋を設定したりしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1	・毎日清掃吹き上げを徹底しています。	・事業所の前にごみのポイ捨てが多いのでそうならない環境をどういう風にしていくかを考えています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	4	2	・パニックやクールダウンが必要な際は、職員室やお昼寝部屋を使えるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	3	・毎朝、前日の振り返りを行い、良かった点、悪かった点を話あっている。悪かった点があった際は、どこがいけなかったなどの振り返りを行っています。 申し送りノート等も活用しています。	・職員会議の頻度を増やしていって、情報共有や方向性の共有をしていきたいです。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3		・初めての評価でまだ、行っていない。来年度より行う。 ※今年度、6月開所の為。 ・保護者向け評価表は、今回初回にて今後、実施できると思う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	3	・都度意見を言い合って、良い支援に向けて取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		・初めての評価でまだ、行っていない。来年度より行う。 ※今年度、6月開所の為。 ・保護者向け評価表は、今回初回にて今後、実施できると思う。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1	・虐待、感染、身体拘束、療育の研修等を実施しています。 ・個別支援会議を実施して、支援の方向性を示していけるようにしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	4	2	・個別療育にて、得意なところや苦手なところを伸ばせるように１対１の関りを大切にしています。	・Instagramと県庁へ報告はしています。今後はホームページ等を整備して、幅広くプログラムを周知できるようにしていきたいです。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	・相談員さんの計画に沿って、その子にあった計画書になっているとおもいます。	・今後は学校との担当者会議も含めて、ここのアセスメントに繋げられるように関係機関と連携を図っていきたいと思います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	2	・個別支援計画書を基に５領域に沿った支援をしていると思います。 ・まだ、共通理解していないところがあるが、職員前向きに取り組んでいます。	・児発管の役割が大きく、各職員が積極的に療育に参加できるようにしていきたいです。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	2	・個人ファイルに計画書を整理しています。 計画の内容を忘れても、直ぐにみんなが見れるようになっています。 ・職員間で支援計画に沿った支援を行っているのかの確認を行なっています。 ・記録のポイントを児発管さんがまとめてくれています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含めインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	5	・なぜ、こんな行動をするのかを職員間で話し合い、過去の行 動等を共有し、確認し合っています。 ・児発管さんが頑張ってなってほしい姿などをまとめた資料で伝えてくれているので、すごくわかりやすいです。	・情報を整理するツールはあるがそれを活用できる職員が少ないのが現状。職員のスキルUPを図りながら、アセスメントのできるような研修に取り組んでいきたいと思います。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1	・５領域の計画書になっており、その子にあった分かりやすい内容でまとめられ、設定されています。	・地域支援の部分ができていないので、子供たちが関われる施設を探していきたいです。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	2	・職員が１～２人で交換で活動プログラムの立案を検討し、作成 しています。毎月、担当を設け、担当が決めた立案をみんなで共有はし います。	・チームでプログラムを立案できるようにしていく必要があると感じています。 一部の職員への負担が大きい１年だったので、みんなで分担していきたいです。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6	・静と動の活動をバランスよく取り入れています。 ・毎月、月案を作成する職員が違うので、固定化されないように工夫できています。 ・必要時以外は、毎月、同じ活動がないように行事活動含め実施しています。	・忙しい時期にプログラムが似ていることが重なるので、みんなで意見を出し合える環境をつくっていく必要がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		6	・個別療育も取り入れている ・できる限り、個別活動の保証をするようにしている ・児童の現状や今後の状況に応じ、個別、集団活動を組み合わせ作成。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・毎朝、本日の活動内容や送迎担当などの確認を行っている。 ・業務開始前にミーティングを実施。前日、又は当日の活動についての内容説明、確認を行っている。 ・確認に努めてはいるが、もっと必要である。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	4	・その日の振り返りではないが、次の日に前日の振り返りをするようにしています。交通状況等により、終業時間ギリギリの時もある為、翌営業日に共有しています。・支援終了後は、特に問題なければ、翌日朝のミーティングで振り返りを行ない共有しています。・	今後もひとりで抱え込まないように、支援の振り返りを行っていきたいと思います。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		6	・その日の様子等をお便り帳へ記入して、保護者へ共有しています。・記録はその日のうちに記入し、振り返りも行い、改善に努めようとしています。 ・ミーティングで共有し、検討したうえで改善につなげている。	・記録の質を高めていけるように、研修等をしていきたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	1	・モニタリング、ミーティングで支援内容の見直しの必要性を検討しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのことどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		・児発管や管理者が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		6	これからの課題だと思います。	
	26	供行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	4		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	5		
	28	（28～30は、センターのみ回答）				
	29	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	30	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	31	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	32	（31は、事業所のみ回答）				
	33	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	1	5		
	34	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6	今年度は機会がなかったです。	
	35	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		6	・いつもと違う様子やできたこと、苦手そうにしていること等を送迎の際に、保護者に伝え、共有しています。 ・保護者とのコミュニケーションを図る中で情報を共有を意識しています。	
	36	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	5	今の所は行えていないです。	
相談や援助の体制	37	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		6	・利用予定と合わせて行事の予定をお知らせし、その中に負担額を記入している。また、事前にLINEにお知らせもしている。 ・もっと理解を深めたうえで行っていきたい。	
	38	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。		6	・モニタリングや送迎のときに、保護者の意向を確認しています。	
	39	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。		6		
	40	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	1	・相談があったときに必要に応じて個別対応しています。	・２期目は、保護者から相談なくとも面談等を設定していきたいと思います。
	41	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	・保護者、兄弟児の参加型行事を設けたりなどして、他児童の 保護者や兄弟と交流できる機会を設けています。	
	42	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		6	・児発管が、参加している。 ※先日も、保護者さんが、担任の先生では解決できない課題につい ての会議に参加してくれた。	
	43	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6	・最近、インスタグラムを始め、毎日の活動をインスタグラムで公開している。※顔出しNGの利用児を除く。 ・日々の様子を、インスタグラムにあげ、発信している。 ・会報はしていないが、活動概要や行事予定他、発信している。 ・SNSで発信できるよう、もっと努めていきたい。	
	44	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		6	・鍵をしめたりしています。 ・請求書等の文書を間違えて配布したりすることがあったので、今後はしっかり確認作業を行っていく必要があります。	・ひとりでこなす業務が多く、ミスがおきやすい環境であった。 そのため、ダブルチェックできるように人員体制を増やしていっています。
	45	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		6	・絵カード、スケジュール表などを使用して、視覚支援や声掛けを行っています。時にはジェスチャーやハンドサインを用いて伝えたりしています。	
	46	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	またまだ地域交流はできていないと思います。事業所の周りの清掃、バス停で待っている方へ椅子をだしたりとかはしています。公民館等で幅広い世代と交流していけるように工夫していきたいと思います。	・今までの行事には招待したことはないが、これから行う行事は地域の方との交流も図りながら進めていきたいです。 ・地域周辺の事業所を把握し、事業所が出来る時間を含わせ取組んでいきたい。
非常時等の対応	47	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		・マニュアルは作成済み	・２期目はブラッシュアップの必要性がある
	48	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	・毎月１回実施しています。	・今後も実施、改善を繰り返して、緊急時に備えていきたいと思います。
	49	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・母子手帳にて契約時に予防接種状況を確認しています。 ・てんかん。内服薬も契約時に把握しています。	・共有していても、把握していないと回答している職員がいるので、日々周知徹底を図っていくための方法を模索していきます。 ・アレルギーの児童がいた際は、対応方法やおやつの提供等もみんなで検討する必要があるので、そのための情報収集はしていく必要がある。
	50	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	4	・施設受け入れ時にアレルギーのチェックをしています。 現在、アレルギーの児童の受け入れなし	
	51	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	4	・防災リュックを避難訓練の際持って避難しています。 ・毎月１回避難訓練実施しています。（火災・水害・地震） ・名護の防災センターへ研修にいきました。	・計画書はみんなが手に取れるところに掲示しています。 入社時、その都度伝えていますが、担当者以外の徹底が薄いため、会社全体で 取り組みできるように工夫していきたいです。
	52	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	1	5	・定期的に避難場所の保護者LINEに避難場所の発信等を行っています。	・一部の職員にて業務を遂行しているため、周知が徹底されていないことがわかりました。全職員が把握できるように計画作成をみんなで行っていきたいと思います。
	53	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	54	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	55	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2	4	・重要事項説明書にて、説明している。 ・計画書には記入していないが、契約時にその子の安全と、他児の安全にかかわるときは、体に触れて止めることを説明している。計画書にも記入していきたい。・現在、身体拘束該当児はいないため、職員間での周知未	・研修、虐待発見時の通報の指号とかを細かく職員に伝えているが、周知ができていないことがわかったので、周知を徹底していきたです。